

2022 年度水質パトロール隊調査レポート

刈谷市の川

くすのきチーム

1. はじめに

海のごみは、りくのごみが川から海に出ているものが多いことを、お母さんが調べてわたしに教えてくれました。また、この前見たテレビの番組では、環境破壊で海の小さな生き物が減ってしまうと、小さな生き物を食べる魚も減って、大好きなマグロなどのおいしいお魚が食べられなくなるかもしれないということを知りました。

わたしは刈谷市に住んでいるので、刈谷市の川がどれだけよごれているかしらべてみたいと思いました。

2. 用意したもの

●バケツ

●ロープ

●温度計

●網

●ノート

●透視度計

●虫メガネ

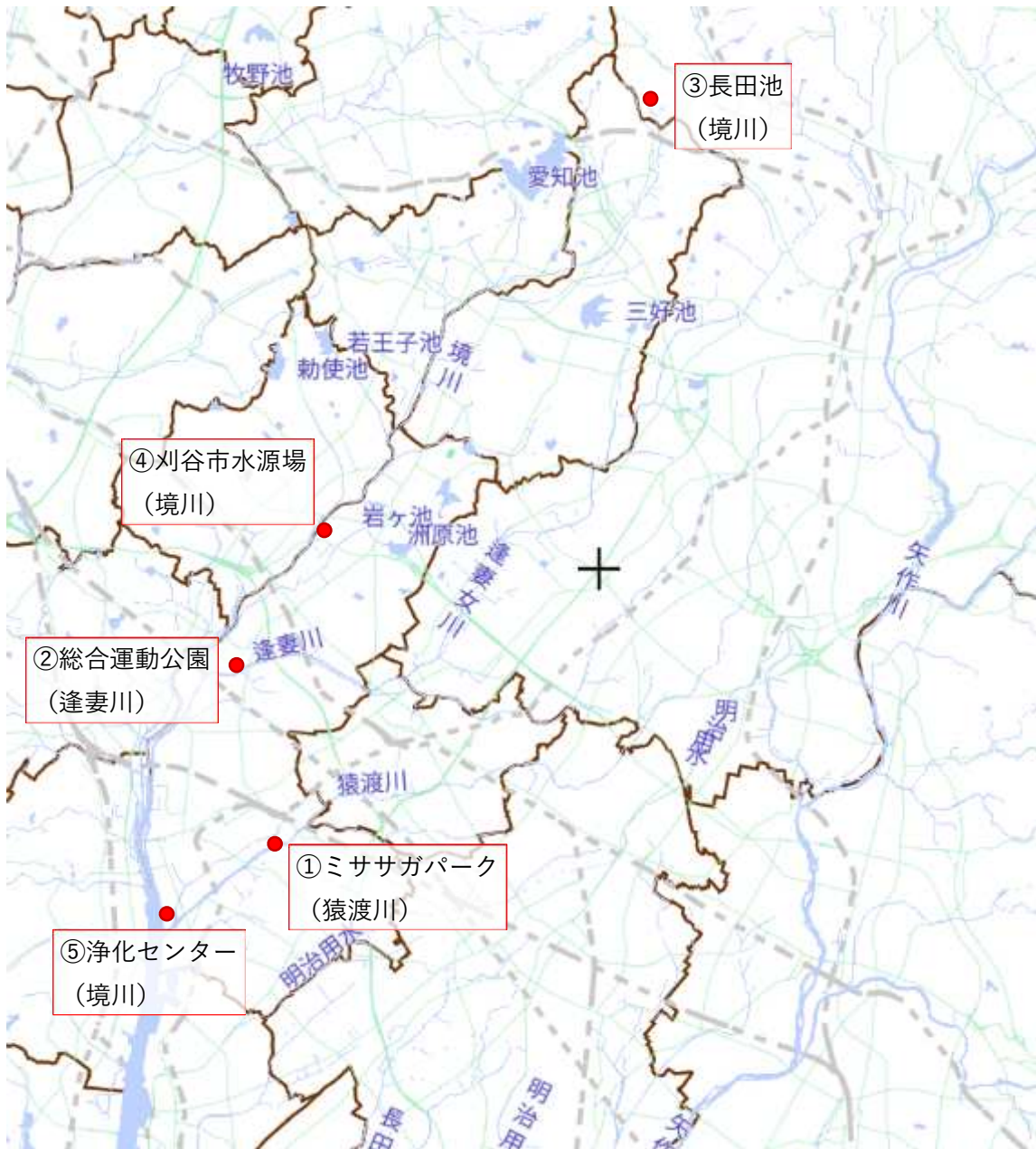
●ルーペ

●カメラ

●パックテスト（配布）



3. 調査した場所



「地理院地図 VECTOR」より

4. 調査の結果・調査の様子

場所	日付	時間	天気	気温	水温	透視度	COD	その他
①	7/24	10:00	晴れ	30°C	27.7°C	26cm	6	海のおいがする。川の上流に向かって水が流れていた。 生き物： テナガエビ シオカラトンボ オオキンケイギク
②	7/24	12:00	晴れ	32°C	28.9°C	42cm	8	流れはふつう 生き物： テナガエビ オタマジャクシ
③	10/23	13:30	晴れ	24°C				池の近くに行けなかった。 ごみが浮いていた。 生き物： クモ ショウリョウバッタ
④	10/23	15:00	晴れ	24°C	22.7°C	25cm	4	水の流れはゆっくり。 生き物： セキレイ
⑤	10/23	16:15	晴れ	23°C	23.8°C	36cm	5	海近く。 釣りをしている人がいた。 生き物： さかな サギ

①ミササガパーク付近（猿渡川）



②刈谷市総合運動公園付近（逢妻川）



③長田池（境川）



④刈谷市水源浄水場付近（境川）



⑤境川浄化センター付近（境川）



5. わかった事・考えた事

長田池はごみがすてられていて、きたなかったです。ごみはビニール袋、ペットボトル、空き缶でした。



境川の水源浄水場近くでは、パソコンのモニターや、折りたたみテーブル、化粧品のびんなどがすてられていました。

海の近くでは釣りをしている人がいましたが、そこでも釣り糸などのごみが落ちていました。

こんなにたくさんのごみが捨てられている川の水をのむのは、ちょっとイヤだなあ、と思った

けれども、浄水場できれいにしていることが、わかりました。

6. 生活排水について話し合ったこと、考えた事

お父さんやお母さんは、汚れたお皿をそのまま洗わずに、ペーパータオルなどでふいてからあらっています。

理由は、洗う水と、汚れた水をすくなくするためです。

わたしは、お母さんや、お父さんみたいにはできないけれど、水を無駄づかいしないようにしたいです。

7. まとめ

今回、水質パトロール隊をして、いろんな川が汚れていることがわかりました。これから、いろんな自然や、川の魚や、海の魚や生き物を、まもっていきたいです。

8. 参考資料

「川からプラスチックごみを考える」伊藤浩子 循環とくらし No.9 p.60

「海の異変 しのびよる酸性化の脅威」NHK スペシャル 2022.7.17 放送